

スタディ・グループおよびワーキング・グループの創出に向けた 活動プロセス（案）について

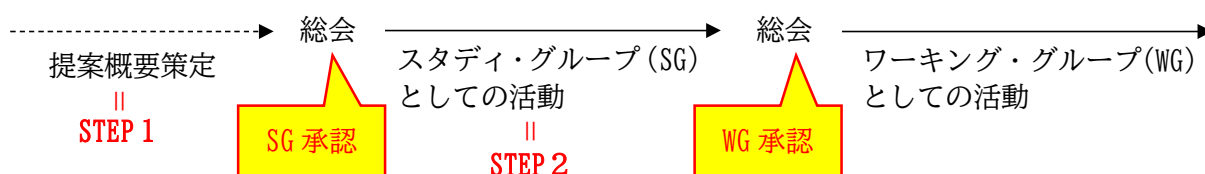
（１）アンケートのまとめ（ポイントのみ）

【アンケートの趣旨】 コンソーシアムメンバーのアイデアや考えを広く聞いたうえで、今後の活動に活かすこと。

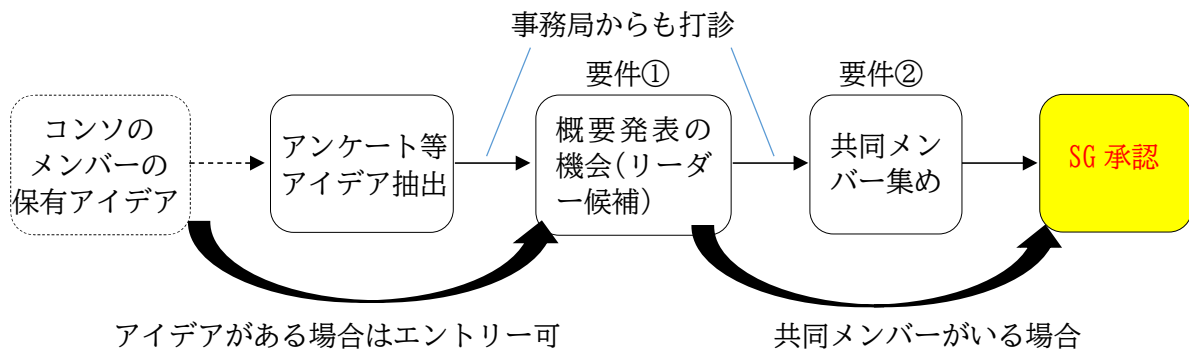
- ①令和 7 年 12 月 4 日～12 日にアンケートを実施
 - 回答（オブザーバーを含む） 25 社
 - 未回答 12 社
- ②既存の SG で参加したいもの（複数回答可）
 - エアモビリティベース 8 社
 - フリードローン特区 9 社
 - 新規提案したい 2 社
- ③コンソーシアムへの参加動機（複数回答可）
 - コンソーシアムメンバー間での協業 16 社
 - 国家戦略特区を活用した活動 12 社
 - 国の予算申請の機会 10 社
- ④次年度以降も自立的・持続的に運営するために、運営を会費制とする案
 - 賛同する 13 社
 - 賛同しない 12 社
- ⑤その他、ご意見等
 - 市役所としての活動だけでは実現し得ない、国と企業をつなぐコーディネートを期待する
 - 会費制とすることで運営体制を絞り込み、質と統治を強化すべき
 - エアモビリティの産業基盤が未成熟な中での会費制はハードルが高い
 - 多種多様な関わり方を許容する柔軟な運営を希望する

（２）具体的な活動プロセス（案）

・第二回総会で承認された下記のプロセスにおいて、今回のアンケート調査結果を踏まえて、コンソーシアムメンバーが主体的かつ協調的に活動するための、より具体的なプロセスを提案する

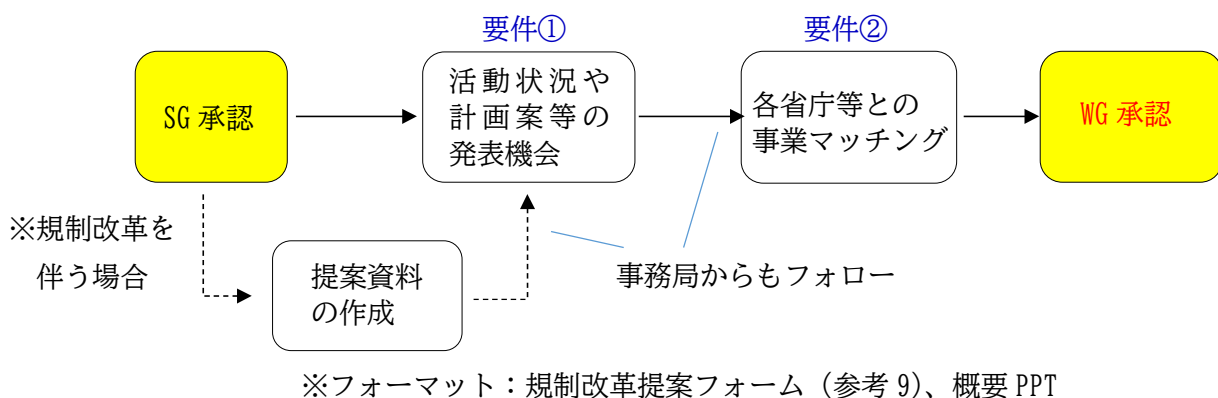


STEP 1：SG 創出に向けた基本プロセス



SG 要件①グループリーダーがいること（提案者）
SG 要件②グループメンバーがいること（共同で取り組む仲間）

STEP 2：WG 創出に向けた基本プロセス



WG 要件①活動計画が策定されていること
WG 要件②予算が確保されていること



以下、Q&A

(Q1) WG 承認されるメリットは？

(A1) コンソーシアムの中でコンセンサスがとられたテーマとして、事務局が優先的に支援します（フィールド調整等）。※WG 承認は後からついてくるものであり、予算が確約されるものではないです。

(Q2) テーマ設定としての方向性は？

(A2) コンソーシアムメンバー内にてアライメントされたテーマであればどのようなテーマでも答申可能です。

(Q3) 既存の SG は要件を満たしているのか？

(A3) 要件確認を事務局から改めて確認・打診します。

(Q4) 本プロセス以外の方法で、加賀市フィールドで事業を進めたい場合は？

(A4) 市役所と個別相談をしてください。

(Q5) 12 月アンケート結果から、新たな SG は作れるのか？

(A5) 12 月アンケート調査に加えてコンソーシアムの参加者のアイデアを吸い上げる方法は、アンケート以外の方法も含めて今後検討していきますので、引き続きご協力のほどお願いします。